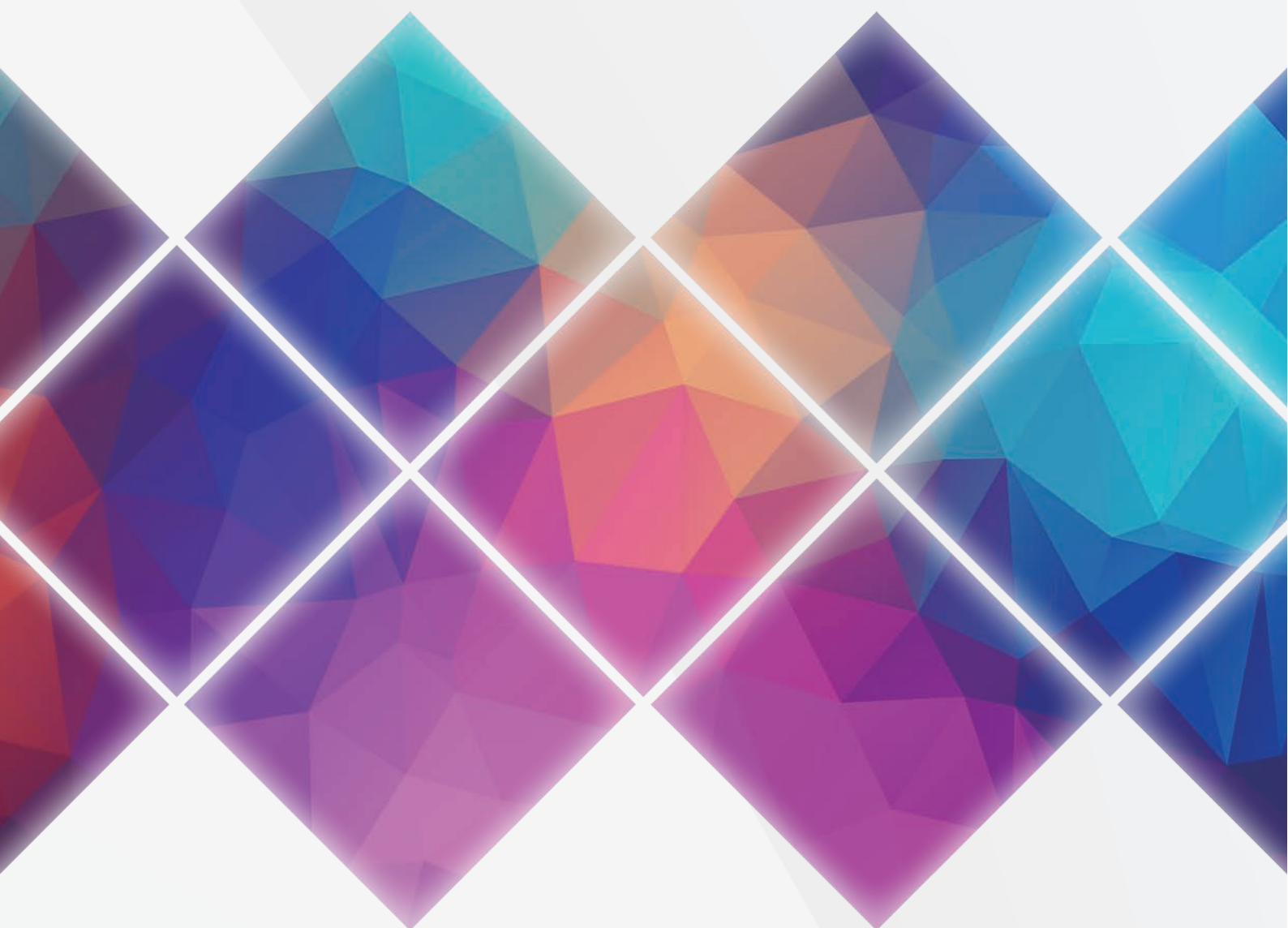




PRODUCT LINE-UP



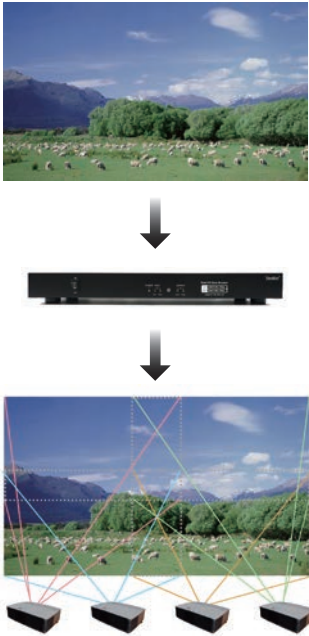
幾何学補正・エッジブレンディングプロセッサ機能比較表

カテゴリー		幾何学補正+エッジブレンディング										
		幾何学補正										
		1出力			2出力		3出力		4出力			
型番		G116	M801	M801EX	G802	M802	M802EX	M803	M803EX	G804	M804	M804EX
ビデオ出力	HDMI	1	1	1	2	2	2	3	3	4	4	4
	HDMIループアウト※1	1	1	1	1	2	2	3	3	2	4	4
ビデオ入力	HDMI	2	2	2	2	4	4	6	6	4	8	8
	DisplayPort	1	1	1	1	2	2	3	3	2	4	4
	VGA	1	1	1	1	2	2	3	3	2	4	4
最大入力解像度	4K/60P(4:4:4)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	4K/30P以下	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
出力解像度(1面あたり)	4K	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	720p、1080p、WXGA、WUXGA	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
入出力遅延(ミリ秒)		32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms	32ms
HDCP		2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4
入力画像の分割		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オーバーラップ 水平・垂直±1800		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
幾何学補正	ポイント補正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	リニアリティ補正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	コーナー補正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	グリッドパターン	格子	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		格子+入力映像	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		グリッドサイズ可変	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エッジブレンディング	ブレンディング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ブラックレベル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ガンマ	RGBカーブ補正	—	—	●	—	●	—	●	—	—	●
		RGB個別補正	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
機能	映像反転(左右・上下・左右+上下)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	映像回転※2		●	●	●	▲	●	●	●	▲	●	●
	2画面同時投写(ピクチャーバイピクチャー)		—	—	—	●	●	●	●	●	●	●
	PIP(ピクチャーインピクチャー)		●	●	●	—	●	●	●	—	●	●
	POP(ピクチャーアウトサイドピクチャー)		●	●	●	—	●	●	●	—	●	●
	カラーレンジ「16~235」→「0~255」変換		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	マスク	カスタムマスク	—	—	●	—	●	—	●	—	—	●
		エッジマスク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
制御	操作ボタン(フロントパネル)		●	●	●	—	●	●	●	—	●	●
	RS232	DB9ピン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		RJ45(TCPサーバー)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ネットワーク	WebUI	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	USB・ネットワーク	GWarp3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ラックマウント消費サイズ		1U	1U	1U	1U	2U	2U	2U	2U	2U	2U	2U
電源		DC	DC	DC	AC	DC	DC	DC	DC	AC	DC	DC

※1 ループアウト対応の入力信号には制限がありますので、詳細については取扱説明書をご参照ください
※2 ▲: 入力ソースの解像度が4K@30P以下かつフォーマットがRGB 8bitまたはYCbCr 4:2:2 10bit以下の場合のみ回転可能
G802には1つの入力信号を2出力するモジュールが搭載されています。G804にはG802に搭載されたモジュールが2枚組み込まれています。M800EX、M800シリーズ、G116は、1つの入力信号を1出力するモジュールが出力数に応じて搭載されています。

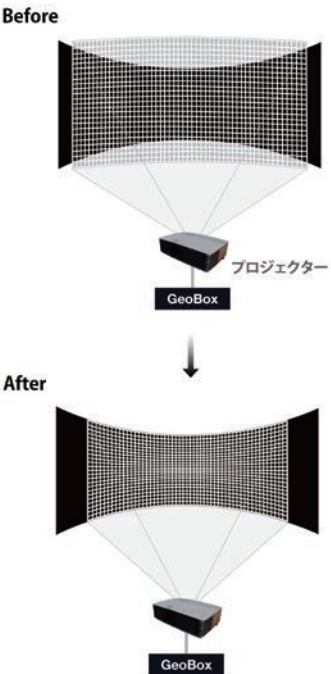
入力画像の分割 + オーバーラップ

入力映像をタテヨコ最大 15 分割し、
任意の部分を出力
プロジェクターを重ねて投写するエリア
の映像を生成・調整



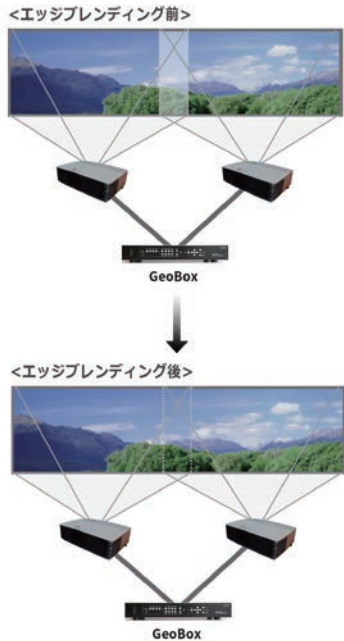
幾何学ひずみ補正

投写エリアに配置されたポイントを起
点として、ジオメトリ補正



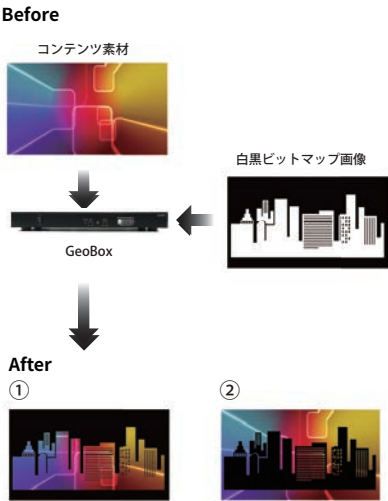
エッジブレンディング

左右や上下に重なり合う投写エリアの
明るさ・色合いを調整



カスタムマスク

白黒のビットマップ画像をアップロード
し、任意の形状でマスクング



エッジブレンディングプロセッサ

M800EX シリーズ (M801EX|M802EX|M803EX|M804EX)

M800 シリーズ (M801 | M802 | M803 | M804)

G800 シリーズ (G802 | G804)

あらゆるプロジェクターで画面の境目を感じさせないシームレスなマルチプロジェクションを実現

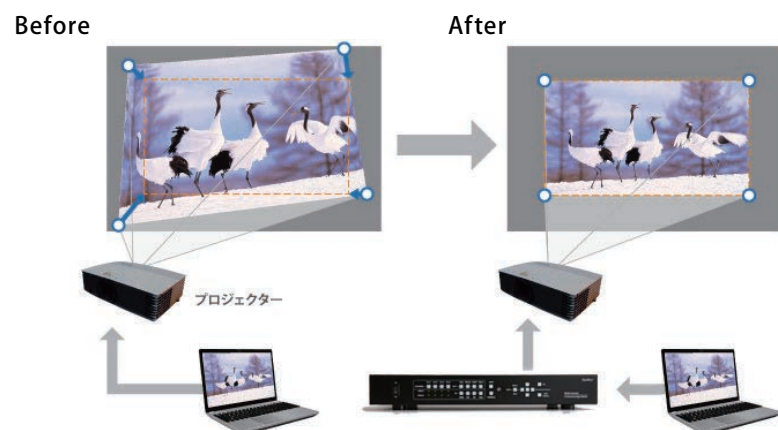


幾何学ひずみ補正

プロジェクターから出力される映像の歪みを補正し、スクリーンの形状に合わせた投写を行うことが可能です。

■4点コーナー補正

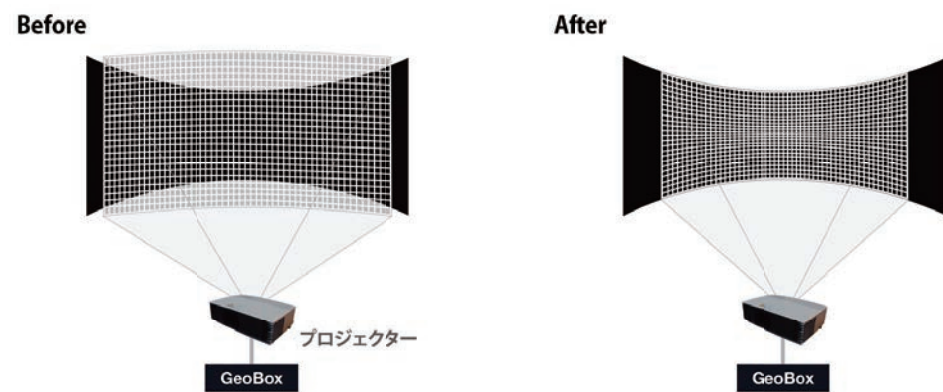
投写エリアの4点のコーナーに幾何学補正の起点となるポイントを表示させひずみ補正が行えます。



■ポイント補正

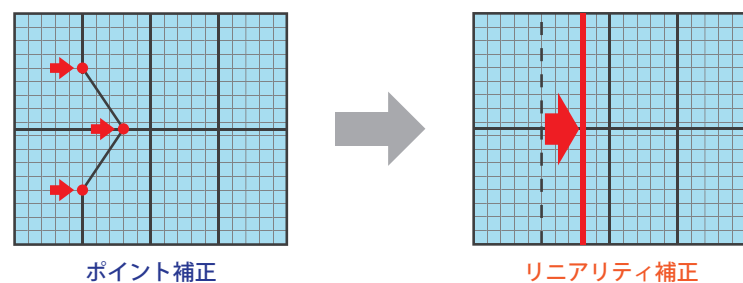
曲面、球状、円柱状などフラットではないスクリーンへ投写できるよう、映像に対して3×3、5×3、9×5の格子状のポイントを表示させ、各ポイントを起点としてひずみ補正を行うことが可能です。

専用ソフトウェアのGWarp3を使用する場合は最大289点 (17×17) のポイントが選択できます。



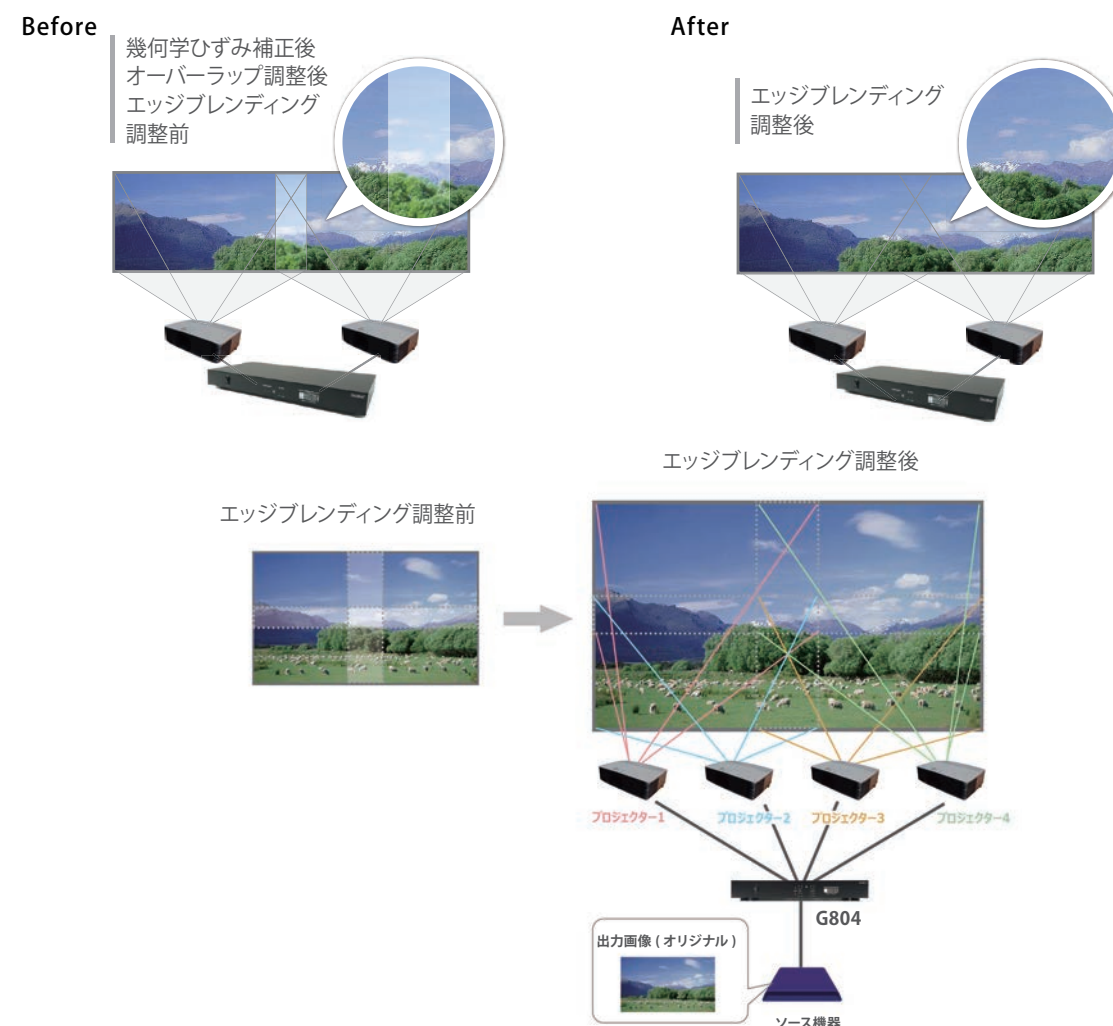
■リニアリティ補正

水平または垂直方向のポイントを一括で選択し、線を起点として直線的に補正することが可能です。



エッジブレンディング / オーバーラップ

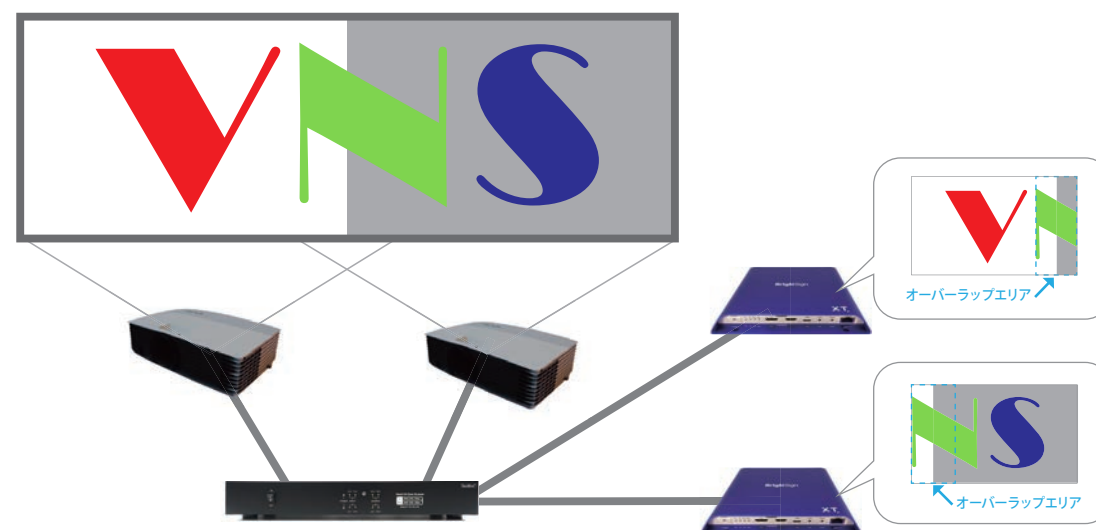
複数のプロジェクターが投写して重なるエリア (オーバーラップエリア) の光量を水平・垂直方向に調整し、継ぎ目のないマルチプロジェクションを実現します。



■N入力N出力 (対応機種:M800シリーズ|M800EXシリーズ)

M800シリーズ、M800EXシリーズは複数に分割された入力ソースの映像を、各チャンネルにそれぞれ入力することが可能です。各入力ソースの映像上で用意されたオーバーラップエリアの輝度を調整し、継ぎ目のないマルチスクリーン投写を実現します。

※このケースでは各コンテンツは予めオーバーラップエリア(プロジェクターが重なる部分)の映像を含めて作成して下さい。

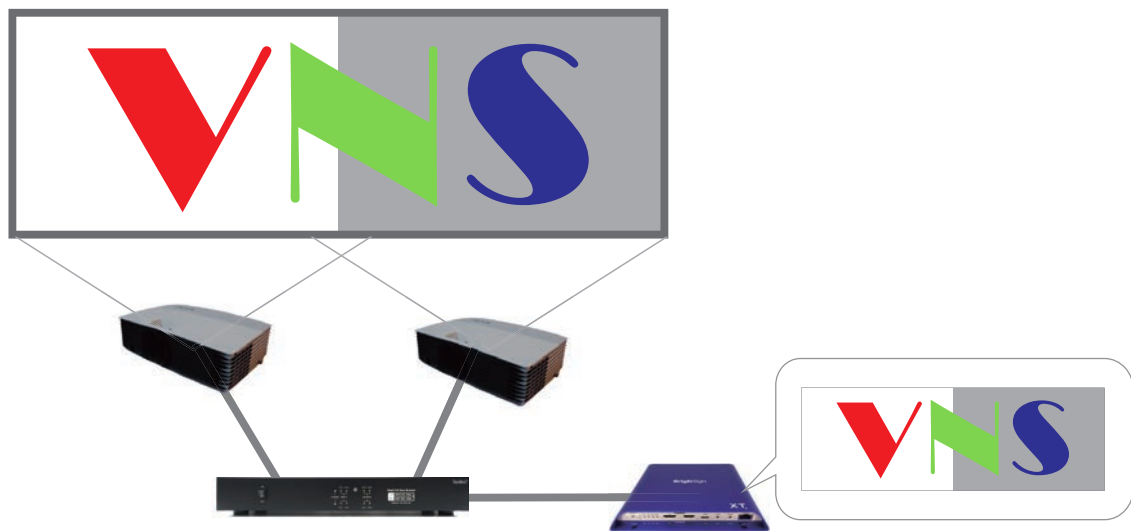


■ 1入力N出力（対応機種：G800シリーズ| M800シリーズ| M800EXシリーズ）

本機の入力映像の分割機能を使って1入力ソースの映像を切り出しマルチスクリーンへ投写できます。

この時、各チャンネルに同じ映像ソースを入力する必要があるため、別途映像分配器が必要です。

但し、HDMI入力信号に限りHDMIループアウト端子と別チャンネルHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続するだけで、マルチスクリーンへ投写できます。このケースでは、本機でオーバーラップエリアを生成できます。



各モデル別 接続事例

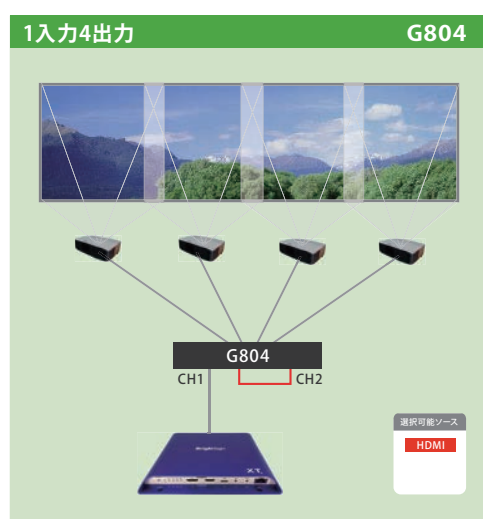
【G800シリーズ】

1入力2出力の内部構造を有し、G802に1系統、G804に2系統搭載されています。

図1



図2



▼図1：1入力2出力の場合 (G802)

INPUT CH1にHDMI, Displayport, VGAのいずれかで入力し、OUTPUT CH1およびCH2から映像を出力します。本機の設定にて映像の分割とオーバーラップエリアの生成を行います。

▼図2：1入力4出力の場合 (G804)

HDMIループアウトを使用するためINPUT CH1にHDMIで入力し、OUTPUT CH1およびCH2から映像を出力します。INPUT CH1への入力ソースがパススルー出力されるループアウトCH1とINPUT CH2を繋ぐことにより、OUTPUT CH3およびCH4からも同じ映像が出力します。本機の設定にて映像の分割とオーバーラップエリアの生成を行います。

※ループアウトCHを利用して、本機を多段接続することで5出力以上の投写も可能です。

【M800シリーズ / M800EXシリーズ】

1入力1出力の内部構造を有し、M801に1系統、M802に2系統、M803に3系統、M804に4系統搭載されています。

図1

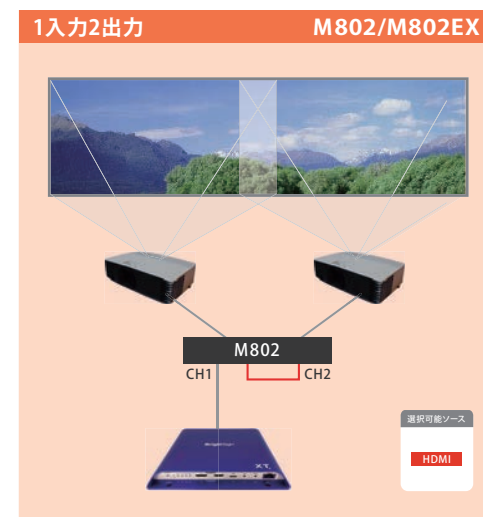


図2



▼図1：1入力2出力の場合 (M802 / M802EX)

HDMIループアウトを使用するためINPUT CH1にHDMIで入力し、OUTPUT CH1から映像を出力します。INPUT CH1への入力ソースがパススルー出力されるループアウトCH1とINPUT CH2を繋ぐことにより、OUTPUT CH2からも同じ映像が出力します。本機の設定にて映像の分割とオーバーラップエリアの生成を行います。

▼図2：1入力4出力の場合 (M804 / M804EX)

図1と同じ要領で接続し、ループアウトCH2とINPUT CH3、ループアウトCH3とINPUT CH4も繋ぐことでOUTPUT CH3およびCH4からも同じ映像が出力します。本機の設定にて映像の分割とオーバーラップエリアの生成を行います。

※ループアウトCHを利用して、本機を多段接続することで5出力以上の投写も可能です。

図3

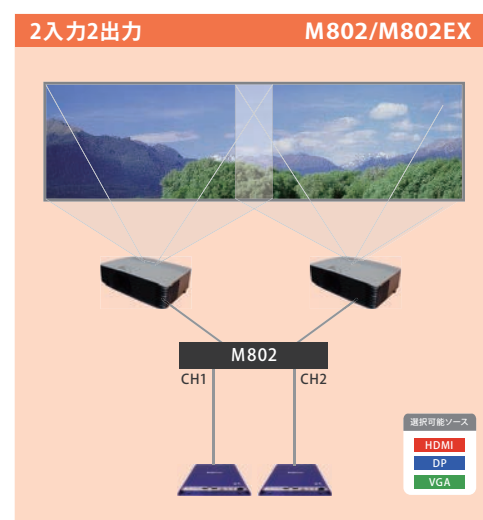
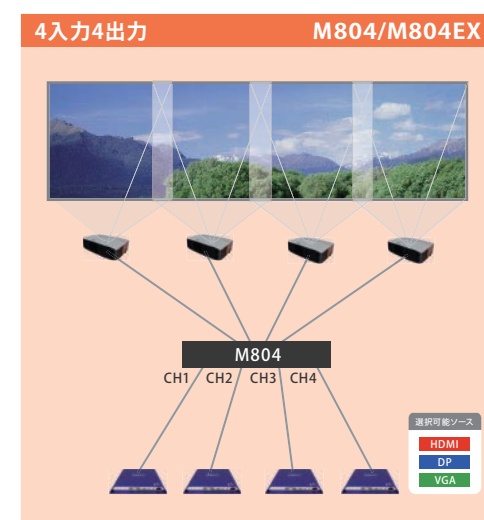


図4



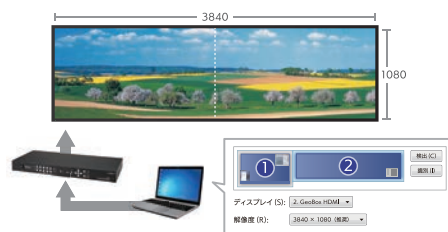
▼図3-4：2入力2出力(M802 / M802EX)の場合・4入力4出力(M804 / M804EX)の場合

予め出力するプロジェクターの台数分に分割された映像コンテンツと、台数分のソース機器を用意します。INPUT CH1にHDMI, Displayport, VGAのいずれかで入力し、OUTPUT CH1から出力します。同様に、すべてのINPUT CHに接続し、それぞれ対応するOUTPUT CHから出力します。

4K 入力対応

M800EX M800 G800

3840x2160@60p(RGB/YUV4:4) 4096x2160@60p、3840x2400@60pの4K映像コンテンツ入力に対応。4K(3840x1080@60p)入力を横方向2面(1920x1080@60p×2)に分割した場合、4K映像コンテンツのドットパイロット表示を実現します。



ブラックレベル補正

M800EX M800 G800

オーバーラップエリアでは、プロジェクターの光が重なり合うため、非オーバーラップエリアのブラックに比べ、僅かにグレー（ブラックが薄くなる）となります。本機のブラックレベル補正は、非オーバーラップエリアのブラックレベルをオーバーラップエリアのグレーに近づけることができます。



PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応

M800EX M800

任意の2系統入力の映像を1画面に表示できます。PIPのサイズやポジションの設定も可能です。また、2つの入力信号を画面の左右に表示します。



※PIP画面のエッジレンディングはできません。
※HDMI-1とHDMI-2の組合せを選択することはできません。

2画面同時投写 | プリセット保存&呼び出し

M800EX M800 G800

1台のプロジェクターごとに任意の入力信号をマトリクス状に切り替えて、投写を突き合わせて2画面同時投写（ピクチャーバイピクチャー）することができます。また、設定情報を最大5通りまでプリセット保存し、呼び出すことができます。

ピクチャーバイピクチャー

4K/1K

1080p



※2画面同時投写では、HDMI-1とHDMI-2を同時に表示する設定はできません。

コーナー補正

M800EX M800 G800

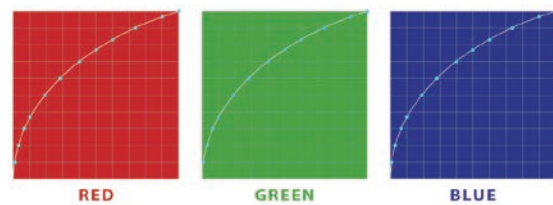
1台のプロジェクターでコーナーに合わせて投写が可能です。



RGB 個別ガンマ補正

M800EX M800 G800

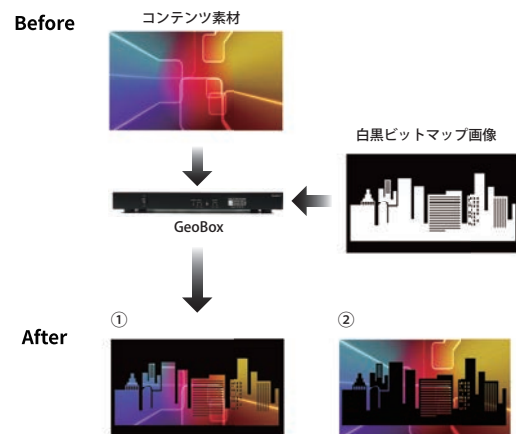
ブレンディングエリアのRGBガンマをR・G・B個別に補正することができます。



カスタム マスク

M800EX

専用ソフトウェアGWarp3に白黒2bitの画像を取り込み、任意の形状でマスクをかけることが可能です。



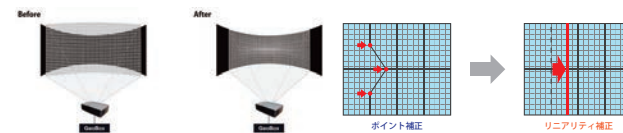
幾何学補正プロセッサ G116

あらゆるプロジェクターで曲面投写を実現

幾何学ひずみ補正

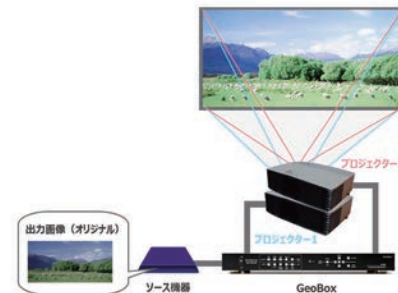
■ポイント補正・リニアリティ補正

投写エリアに幾何学補正の起点となるポイントを表示させ制御することができます。本機のみで設定する場合は最大45点（9×5）、専用ソフトウェアのGWarp3を併用する場合は最大289点（17×17）まで制御ポイント数を増やし、点を起点とする幾何学補正で曲面スクリーンへの投写ができます。また、直線的に調整するリニアリティ補正にも対応します。水平または垂直方向のポイントを一括で選択し、線を起点とする補正ができます。



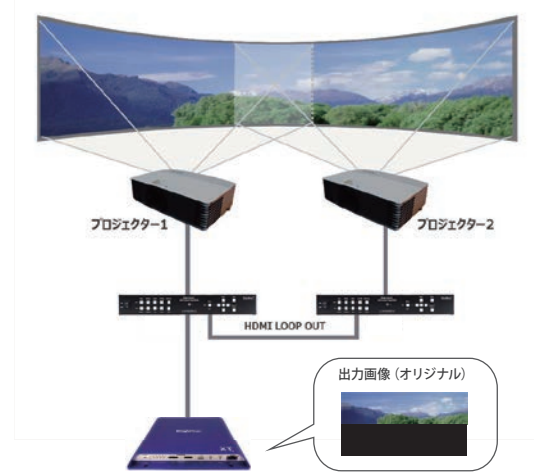
■スタッキング補正

複数台のプロジェクターの映像を補正し、1つに重ねて光量を増やす投写ができます。



入力映像の分割・オーバーラップ (1 入力 N 出力)

本機の入力映像の分割機能を使って1入力ソースの映像を切り出しマルチスクリーンへ投写できます。この時、各チャンネルに同じ映像ソースを入力する必要があるため、別途映像分配器が必要です。但し、HDMI入力信号に限りHDMIループアウト端子と別チャンネルHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続するだけで、マルチスクリーンへ投写できます。このケースでは、本機でオーバーラップエリアの映像を生成できます。

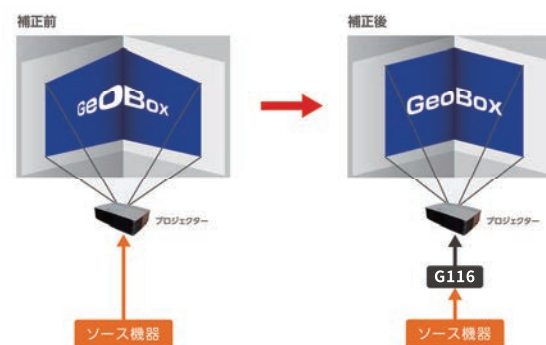


高性能スケーリング出力エンジン搭載

11種類の出力解像度パターンを搭載しています。

コーナー補正

1台のプロジェクターでコーナーに合わせて投写が可能です。



映像反転・回転（ローテート）表示



PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応

任意の2系統の入力映像を1画面に表示できます。PIPのサイズやポジションの設定も可能です。また、2つの入力信号を画面の左右、上下に表示するPOP(ピクチャーアウトサイドピクチャー)にも対応します。



※HDMI-1とHDMI-2の組合せを選択することはできません。

マルチディスプレイコントローラー機能比較表

モデル			フラッグシップ	スタンダード		エントリー	多機能	
型番			G406	G408	G406L	G406S	G405L	G413
ビデオ 入力信号 ※1	HDMI		2	2	1	1	1	2
	DisplayPort		2	—	—	—	—	1
	VGA		—	—	—	—	—	1
ビデオ 出力信号	HDMI		4	8	4	2	4	4
	HDMIループアウト ※2		2	2	1	1	1	1
最大 入力解像度	4K/60P(4:4:4)		●	●	●	●	—	※3
	4K/30P以下		●	●	●	●	●	※3
出力解像度 (1面あたり)	4K		—	—	—	—	—	—
	720p、1080p、WXGA、WUXGA etc		●	●	●	●	●	1080p
入出力遅延(ミリ秒)			16ms	16ms	16ms	16ms	16ms	20ms
HDCP			2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	2.2/1.4	1.4	2.2/1.4
マルチ ディスプレイ	入力画像の分割		●	●	●	●	●	●
	入力画像の斜め分割		—	—	—	—	—	●
	オーバーラップ	水平・垂直±1800	●	●	●	●	●	●
		水平・垂直±900	●	●	●	●	●	●
機能	映像反転(左右、上下、左右+上下)		●	●	●	●	●	●
	映像回転 ※4		●	●	●	●	●	●
	PIP(ピクチャーインピクチャー)		—	—	—	—	—	●
	POP(ピクチャーアウトサイドピクチャー)		—	—	—	—	—	●
	ループプレイバック		—	—	—	—	—	●
	背景カラー設定		—	—	—	—	—	●
	カラーレンジ「16〜235」→「0〜255」変換		●	●	●	●	●	●
制御	操作ボタン(フロントパネル)		●	—	—	—	—	—
	リモコン		●	●	●	●	●	●
	RS232	DB9ピン	●	●	●	●	●	●
		RJ45(TCPサーバ)	●	●	●	●	—	●
	ネットワーク	Web UI(バーチャルリモコン)	●	●	●	●	—	●
	USB ネットワーク ※5	UHD Wall Manager	●	●	●	●	▲	—
		GAlign2	—	—	—	—	—	●
ラックマウント消費サイズ			1U	2U	1U	1U	1U	1U
電源			DC	DC	DC	DC	DC	AC

※1 赤文字は1入力2出力、青文字は1入力4出力
※2 ループアウト対応の入力信号には制限ありますので、詳細については取扱説明書をご参照ください
※3 最大サポート解像度は1920×1080、4K(3840×2160)も入力可能ですが、4K入力の場合はフルHDディスプレイ4つ(3840×2160)の画面に対して、ドットバイドット表示できません。
4Kをドットバイドットで分割表示したい場合は、別モデルのGeoBox (G405L、G406L、G406、G408)をお選びください。
※4 機種や設定条件によって映像回転可能な入力解像度が異なりますので、詳細については取扱説明書をご参照ください
※5 ▲:USB制御のみ対応

入力映像分割+オーバーラップ

入力映像をタテヨコ最大 15 分割し、任意の部分を入力
プロジェクタを重ねて投写するエリアの映像を生成・調整

最大15分割

最大15分割

入力画像 (オリジナル)

映像回転

出力ごとに映像回転 (ローテート)

GeoBox



製品ラインナップ

■ エントリーモデル

4K30Pまでの入力信号に対応し、HDMI1入力4出力の端子を搭載

G405L
(4出力)



■ スタンダードモデル

4K60Pまでの入力信号に対応し、HDMI1入力2出力またはHDMI 1入力4出力の端子を搭載

G406S
(2出力)



G406L
(4出力)



G408
(8出力)



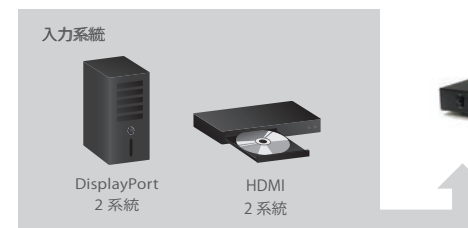
G408はHDMI 1入力4出力を2系統搭載しています。1つの映像コンテンツを8画面に映すだけでなく、2つの映像コンテンツを入力し、4面x2のマルチスクリーン表示することなども可能です。



■ フラッグシップモデル

4K60Pまでの入力信号に対応し、HDMI・DisplayPortの各2系統の入力端子を搭載

G406
(4出力)



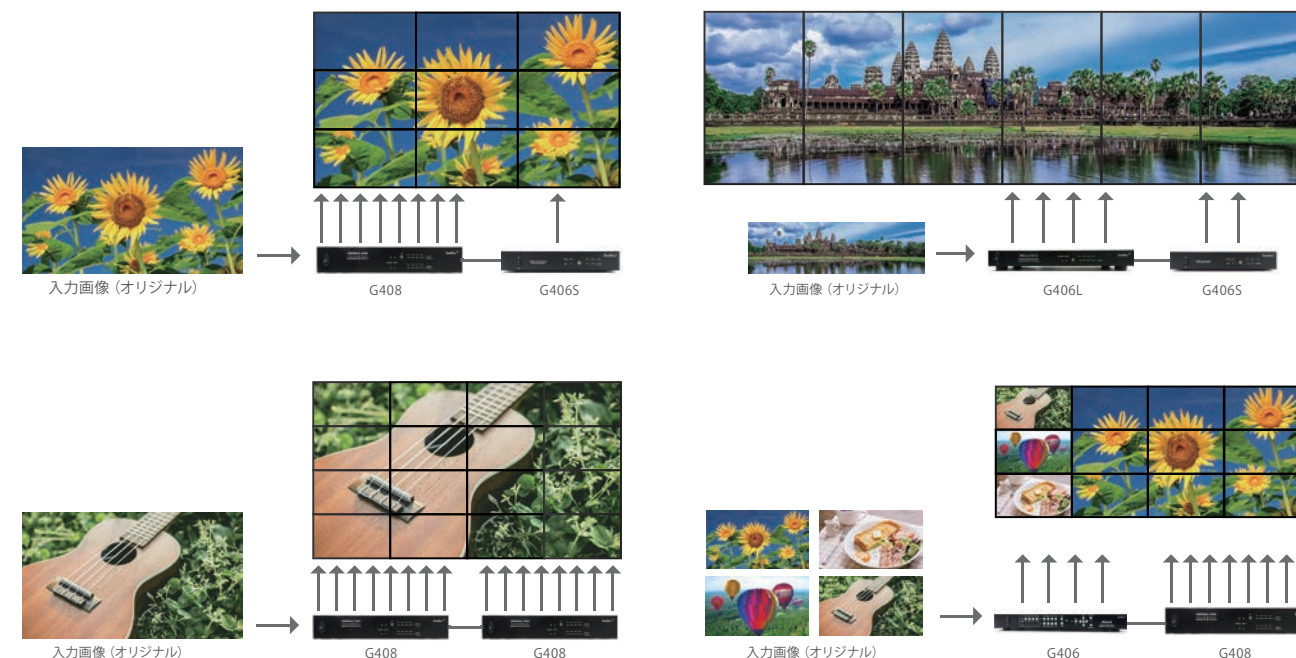
入力信号	CH1	CH2	CH1	CH2	CH1	CH2
HDMI-1	CH1	CH2	CH1	CH2	CH1	CH2
HDMI-2	CH3	CH4	CH3	CH4	CH3	CH4
DP-1	CH1	CH3	CH1	CH3	CH1	CH2
DP-2	CH2	CH4	CH2	CH4	CH3	CH4

G406はHDMI 2入力4出力を1系統と、Display portの1入力2出力を2系統搭載しています。シングルx4面、2面マルチx2面、2面マルチ+シングル2面などの多彩な表示パターンを設定することが可能です。



同シリーズと組み合わせた多画面表示

同一のフレームロック機能を内蔵した同シリーズ (G406S、G406L、G406、G408) の多段接続にも対応します。多段接続することで、6面、9面、12面、16面などのマルチ表示システムを簡単に構築できます。



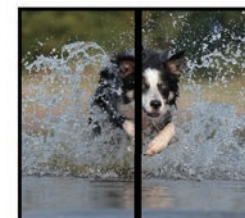
多彩なマルチ表示

GeoBoxの特長である「入力画像の分割」「映像回転・反転」「オーバーラップ」の機能を駆使することで、多彩な2面マルチ表示が可能です。

分割



分割+映像回転



分割+映像回転+オーバーラップ



入力画像の分割出力

GeoBoxに入力した画像を縦横最大15分割し、任意の部分を出力することができます。



オーバーラップ機能

分割出力した画像をピクセル単位で拡大、縮小することができますので、ベゼル補正・オーバーラップの映像生成・アスペクト比の維持が可能です。

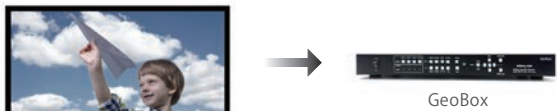
■ベゼル補正
ディスプレイのベゼル幅によって生じる画面のズレを水平・垂直方向に補正できます。



■オーバーラップの映像生成
複数のプロジェクターでマルチ画面を投写する場合は、重ね合わせ部分に入力した映像を生成できます。



■拡大/縮小表示
入力画像のアスペクト比を維持することができます。



オリジナル映像 (16:9)



アスペクトを無視して全画面に表示



画像の横サイズに合わせて拡大表示



アスペクトを維持して最大化表示



アスペクトを維持してマルチ画面の中央に縮小表示

4K/60P (4:4:4) 入力対応

3840x2160@60p(RGB/YUV4:4:4)・4096x2160@60p、3840x2400@60pの4K映像コンテンツ入力に対応します。

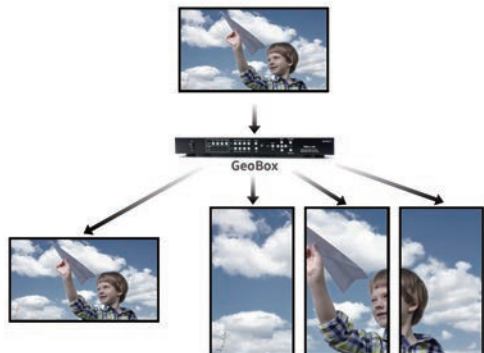
HDCP2.2/HDCP1.4 対応

HDCP2.2のUltra HD 4Kコンテンツ、従来のHDCP1.4コンテンツの再生にも対応します。
※G405LのみHDCP1.4までの対応

映像回転・反転表示

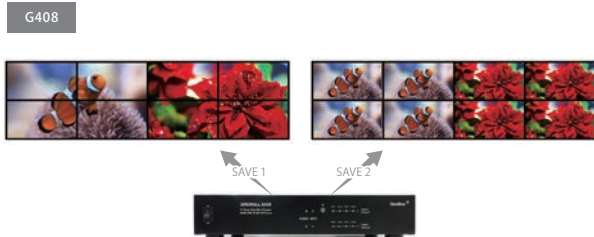
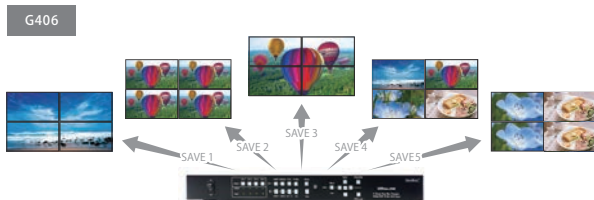
出力先ごとにオリジナル映像を回転や反転（左右、上下、左右+上下）表示が可能です。

※回転は入力ソースが4K@30P RGB8bit以下の場合のみ対応



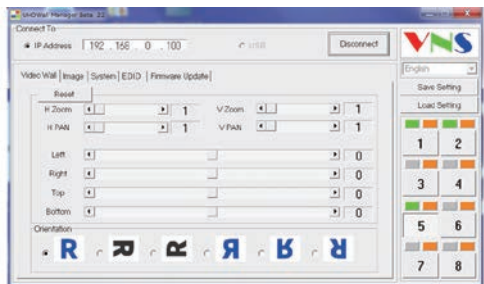
入出力設定パターンのメモリ機能搭載

最大5通りの入出力設定パターンを記憶し、それらパターンを呼出して表示が可能です。



多彩な外部制御

リモコン、RS-232、USB、ネットワーク経由による外部制御が可能です。専用アプリケーションソフト「UHD Wall Manager」をインストールしたパソコンからUSBまたはネットワーク経由で、本機のリセット・各種設定・ファームウェアのアップデートが行えます。
※G405Lのみネットワーク経由の外部制御は非対応



製品画像

G405L



G406S



G406L



G408



G406



4K 入力対応 マルチディスプレイコントローラー比較表

モデル		エントリーモデル		スタンダードモデル		フラッグシップモデル
型番		G405L	G406S	G406L	G408	G406
ビデオ入力信号	HDMI	1	1	1	2	2
	DP					2
ビデオ出力信号	HDMI	4	2	4	8	4
	HDMI/ループアウト	1	1	1	2	2
制御	RS232	●	●	●	●	●
	USB	●	●	●	●	●
	Ethernet		●	●	●	●
最大入力解像度		4K30P	4K60P	4K60P	4K60P	4K60P
HDCP		1.4	1.4 / 2.2	1.4 / 2.2	1.4 / 2.2	1.4 / 2.2
HDR入力			●	●	●	●
対応ラックマウント金具		G404406LS020		G404406LS020	G404406LS020	G404ALL10010
フロントパネルボタン						●
外形寸法 幅x高さx奥行(mm)		330x37x162	220x36x160	330x37x162	330x58x162	440x45x188

多機能マルチディスプレイコントローラー (4 出力)

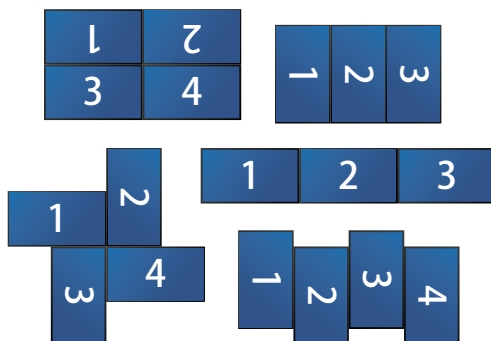
G413

1つの映像コンテンツを自在に切り取りユニークなマルチスクリーン表示を実現



簡単設定のプリセットモード

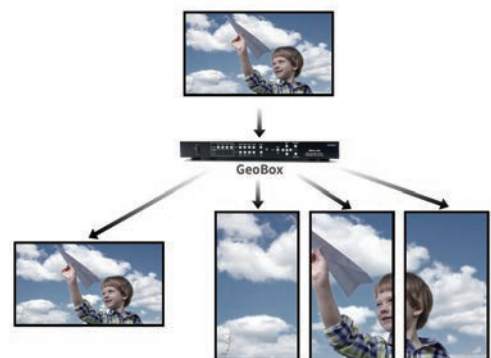
一般的な田の字型からユニークな風車型など計24種類の内蔵された表示レイアウトから、任意の表示レイアウトを選択するだけで簡単にマルチ表示を実現可能です。プリセットレイアウトを編集することもできます。



※ プリセットモードとマニュアルモードの設定値の混在不可

映像回転表示

マニュアルモードでは、出力先ごとにオリジナル映像を回転させ、コンテンツを編集することなく縦表示が可能です。



PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) 対応

複数画面を跨いだPIP表示が可能です。PIPのサイズや表示位置も任意の設定が可能です。



※ 2系統のHDMIを親画面・子画面の組合せとして選択することはできません。

マルチシグナル切り替え

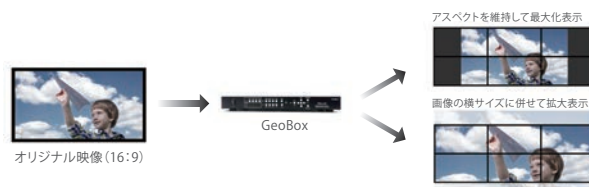
HDMI x2系統、DisplayPort、VGAの入力信号を切り替え、最大4台までのHDMI表示機器に拡大分割表示できます。

任意の切り出し表示 (クリッピング)

専用アプリケーションソフトGAlign2 (ジーアライン2) を使い、出力先ごとにX・Y軸で表示範囲を指定して自在な表示レイアウトを10パターンまで制作&保存ができます。斜めの切り出しも可能です。

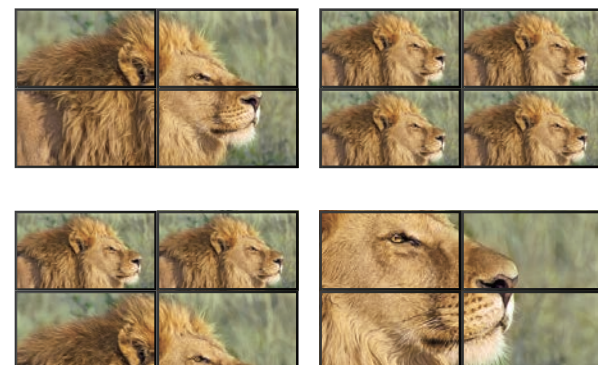


■ 拡大/縮小表示 (マニュアルモード)
入力画像のアスペクト比を維持することができます。

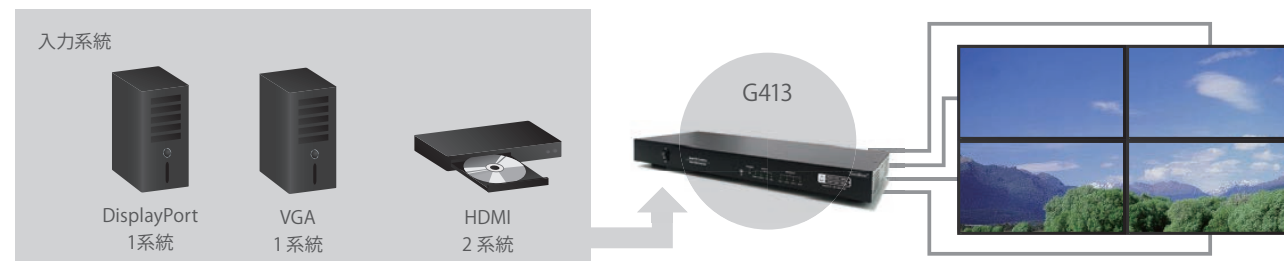


ループプレイバック機能

マニュアルモードで保存したレイアウトパターンを任意の間隔でループ再生できます。同じ映像コンテンツを見せ方を変えて動きのあるサイネージ演出が可能です。

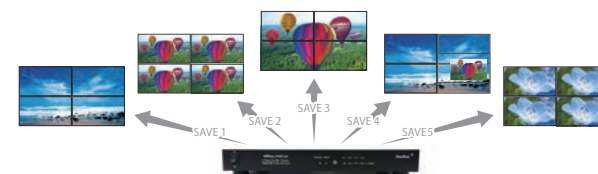


接続図



入出力設定パターンのメモリ機能搭載

最大5通りの入出力設定パターンを記憶し、それらパターンを呼出して表示が可能です。



EDID カスタマイズ可能

水平1024~3840、垂直720~2400の範囲でEDIDのカスタマイズが可能です。

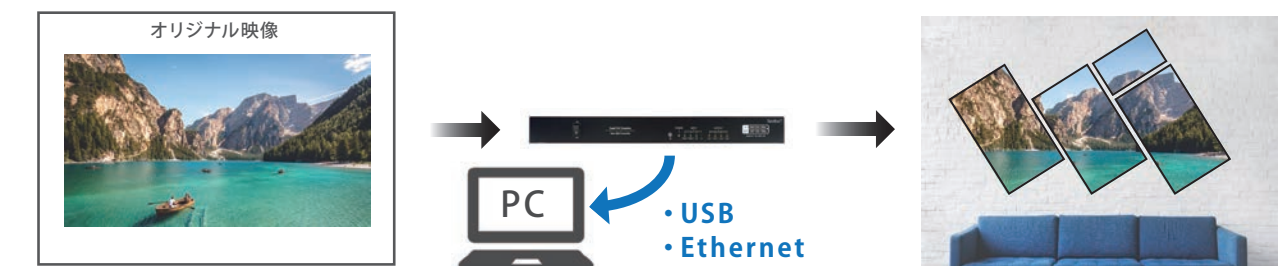
※ 1920x1080を超える値を設定した場合は、サポート外となります。

多彩な外部制御

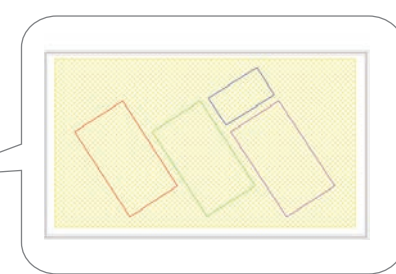
リモコン、RS-232、USB、Ethernet経由による外部制御が可能です。専用アプリケーションをインストールしたパソコンから本機の各種設定・ファームウェアのアップデートが行えます。

専用アプリケーションソフト (GAlign2)

リモコン、RS-232、USB、Ethernet経由による外部制御が可能です。専用アプリケーション(GAlign2)をインストールしたパソコンから本機の各種設定・ファームウェアのアップデートが行えます。



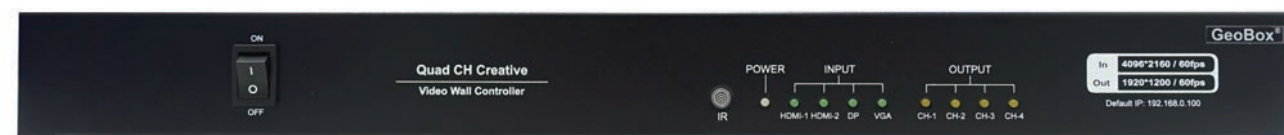
GAlign2 (ジーアライン2)



各出力先モニタに表示させたいクリッピングエリアの左上角・右上のX・Y座標を専用アプリケーション上から設定します。

ダイアグラム画面モードにて、クリッピングエリアのシミュレーションを確認しながら視覚的な操作が可能です。

製品画像





チームラボと森ビル株式会社が共同で開業する、2018年6月21日に東京・お台場パレットタウン内にオープンする「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM : EPSON teamLab Borderless」にGeoBoxが採用されました。100台を超えるGeoBoxは、多数のコンピューターとプロジェクターの架け橋となり、施設面積10,000㎡という圧倒的なスケール感と幻想的な空間をサポートします。

特設サイト：<https://borderless.teamlab.art/jp/>

展示イメージ



運動の森



Borderless World



学ぶ!未来の遊園地



ランプの森



EN TEA HOUSE

About teamLab



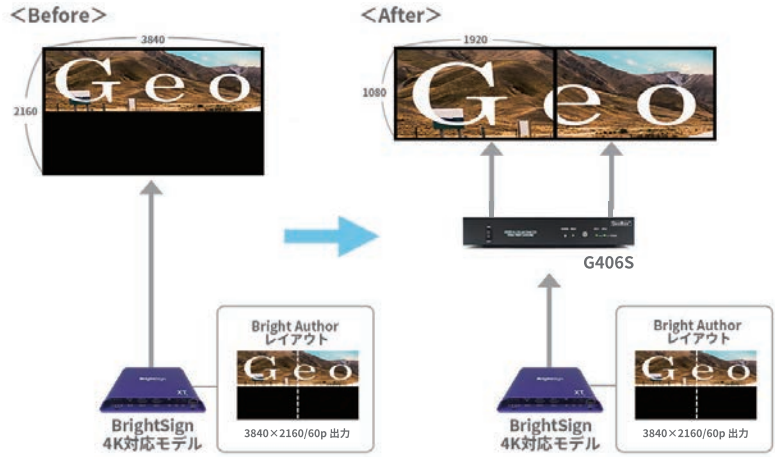
アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、デザイン、そして自然界の交差点を模索している、学際的なウルトラテクノロジスト集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。

チームラボは、アートによって、人間と自然、そして自分と世界との新しい関係を模索したいと思っている。デジタルテクノロジーは、物質からアートを解放し、境界を超えることを可能にした。私たちは、自分たちと自然の間に、そして、自分と世界との間に境界はないと考えている。お互いはお互いの中に存在している。全ては、長い長い時の、境界のない生命の連続性の上に危うく奇跡的に存在する。

チームラボの作品は、ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館（オーストラリア・シドニー）、南オーストラリア州立美術館（オーストラリア・アデレード）、サンフランシスコ・アジア美術館（サンフランシスコ）、アジア・ソサエティ（ニューヨーク）、ボルサン・コンテンポラリー・アート・コレクション（トルコ・イスタンブール）、ピクトリア国立美術館（オーストラリア・メルボルン）に永久収蔵されている。

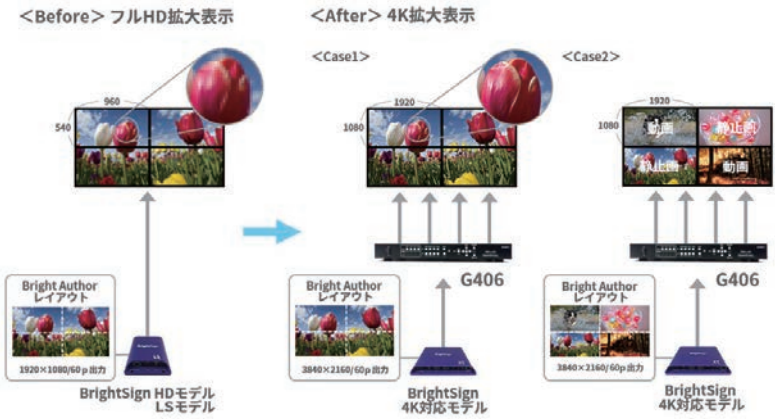
BrightSign&GeoBox 組み合わせ事例

2面マルチ <運用を少しでも簡素化したい方にオススメの事例>



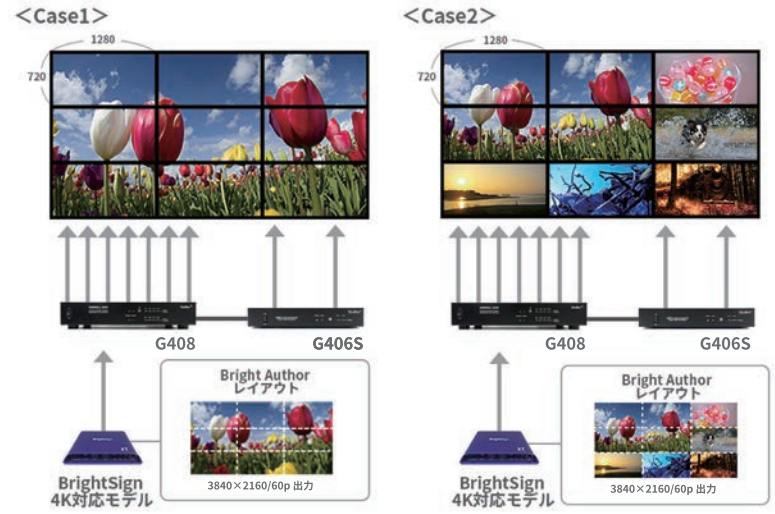
上半分を表示したいコンテンツ、下半分を黒色の4Kコンテンツを制作します。
または、BrightAuthor(ブライトオーサー、BrightSign専用のオーサリングソフト)のレイアウト項目で、上半分だけコンテンツエリアを設定します。G406Sを併用することで、上半分のコンテンツを左右にそれぞれフルHD(1080p)で切り出しマルチモニター表示を実現します。

4面マルチ <高精細表示、コンテンツ切替の要求に応える事例>



1つの映像を複数の表示機器にまたいで表示する場合、多くの機器は4K入力には対応していないため、例示<Before>のようにフルHD(1920x1080)で入力することになり、1画面あたり960x540の精細さに欠けた表示になります。
G406を併用することで4K入力が可能になり、1画面あたり1920x1080のフルHDで高精細に表示をすることができます。
また、BrightAuthorのレイアウト、スイッチプレゼンテーション機能を使用することでCase1とCase2を切替えて表示することもできます。

9面マルチ <シンプルな構成で9面マルチを実現する事例>



1台のBrightSignから4Kコンテンツを出力して、1台のG408とG406Sに入力します。
1面あたりのコンテンツ解像度が1280x720となりますが、G408とG406Sのスケール機能で1面あたり最大解像度1920x1200出力できるため、精細表示を保持できます。
BrightAuthor(ブライトオーサー)のレイアウト項目で9分割、スイッチプレゼンテーション設定することで、例示のCase1とCase2を切替える演出も可能です。



VNS について

VNS社は、世界のIT機器製造の集積地、台湾・台北市にて2000年に設立。創業以来、一貫してプロフェッショナル用途のビデオプロセッサ開発に取り組んでいます。

オリジナルブランド「GeoBox（ジオボックス）」は、幾何学補正、エッジブレンディング、マルチディスプレイ機能搭載のハイエンド製品として、ミュージアム、イベント、空港、ブライダル、シミュレーター、商業施設等で活用されています。

お問合せ先



ジャパンマテリアル株式会社

グラフィックスソリューション部

E-mail : sales-IT@j-material.jp URL : www.jmgs.jp

東京本部

〒102-0082 東京都千代田区一番町5-3 アトラスビル4F
TEL : 03-6261-0386 FAX : 03-6261-0387

名古屋営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-24-5 第2森ビル8F
TEL : 052-526-1777 FAX : 052-526-1778

- ※ 本カタログの記載内容は、2021年8月現在のものです。
- ※ 記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。
- ※ 記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。